

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	就学事務事業			会計	款	項	目	大	事	小
				01	10	01	03	01		04
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）			主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実			主管課長	遠藤 由樹				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	就学する児童・生徒	意図	就学事務の円滑化を図る。
事業内容	就学する児童・生徒の電算処理によるリストの抽出、健康診断通知書、入学通知書の作成及び発送事務			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年3月31日学校教育法及び平成28年10月31日学校教育法施行令により開始した。該当する児童・生徒のリスト及び通学通知書等について、電算会社に委託し打ち出しを行っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
指標	① 電算会社との打ち合わせ	2	3	3	回	→→		
	② 当該者リスト通知書作成の打ち合わせ	2	2	2	回	→→		
	③ 児童入学通知書発送件数	1,794	1,868	1,929	件	↑↑↑		
	④ 生徒入学通知書発送件数	1,450	1,411	1,567	件	↑↑↑		
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 電算委託会社との打ち合わせは、適宜行ってきた。入学する児童・生徒数が増加傾向にある。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,275,123	2,140,344	2,188,512				
事業費(b)(円)		995,023	973,294	1,047,472				
うち一般財源		995,023	973,294	1,047,472				
職員給与費(c)(円)		1,280,100	1,167,050	1,141,040				
人役・職員(人)		0.17	0.17	0.17				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	児童・生徒の就学事務を効率的かつ適切に実施する。	③取組の課題	所在不明の児童・生徒の対応については、庁内関係課や警察との連携が必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	本事務事業は、法的にも必要不可欠な業務であるが、より効率的な事務運営を再考した。	④今後(H30以降)の改善計画	就学事務については、学校教育法及び同法施行令で定められており、基本データは適正に処理されていることから、今後も電算処理による効率的な運営を図りたい。